

# 1 令和5年度 校内研修計画

## I 校内研修テーマ

**「豊かな心」をもつ児童生徒の育成**  
～道徳科における主体的・対話的で深い学びの実践を通して～

## II テーマ設定の理由

Society5.0の時代が到来し、社会の変化が加速を増す中で、新型コロナウイルスが世界的に感染拡大をおこし、さらに複雑かつ予測困難な時代を迎えた。さらには、日本における人口推移は減少の一途をたどり、日本の少子高齢化は世界的に見ても群を抜いて高いことは、誰もが聞いたことのある話だ。その中で、今後20年以内にAIに取って代わる職業が数多くあることは周知のとおりである。つまり、複雑で多様化した時代に生きる子どもたちは、この変化と向き合い、課題や困難に立ち向かい、他者と協働する「生きる力」が求められる。

平成29年（2017年）に告示された新学習指導要領（特別の教科道徳編）には、『生きる力』を育むために「多様な価値観の存在を認識しつつ、自ら感じ、考え、他者と対話し協働しながら、よりよい方向を目指す資質・能力を備えることがこれまで以上に重要」と明記しており、その資質・能力の育成に向けて、道徳教育は大きな役割を果たすことができるとしている。

本校は小中学校が併設されており、異年齢の交流や山村留学で各地から来た子どもたちが共に学んでいる。幅広い年齢の考えに触れることができるが、少人数ということもあり、自己主張が強い児童がいる一方で、経験の少なさなどから自己の価値観を他者にゆだねる生徒もいる。思春期における葛藤との対峙する力や、友人と良好な関係の構築する力、さらには島を離れたときに、自分の意思を多面的・多角的に考え、表現できる力が必要であると考えます。

これらのことを踏まえ、道徳科における主体的・対話的で深い学びの実践を通して、小中両学部が連携協力し、自己表現や他者理解を意識した授業改善に取り組むことで、「豊かな心」をもつ児童生徒の育成ができるであろうと考え、本テーマを設定した。

## III 研究の仮説

道徳科において、「深い学びへ向かう発問や対話的活動の工夫」に取り組むことで、児童生徒が自己を見つめ、他者の意見との相違を主体的に考え、広げ深める力が身につくと考えられる。そうすることにより、「豊かな心をもつ児童生徒の育成」へとつながるであろうと考えた。

## IV 研究の方針

- (1) 校内研修テーマに沿った研究内容について共通理解を深め、全職員が協力しその実践に努める。
- (2) 校内研修テーマを踏まえ、各部の校内研担当を中心に各部会を活用して研究を進める。（各部会を週時程に位置づける）
  - ①校内研担当を中心に、各部一年を通した取り組みを決め、結果を見取る。

②各部会において、指導案検討を実施し、授業実施後、管理職等と授業反省会を実施する。

③各部会の研究の進捗状況の確認や情報交換を各部の校内研担当同士で適宜行う。

(3) 一人1研究授業の実践を行う。

①全職員が一人1回以上、道徳の研究授業を行う。(期間は5月～11月)

※全職員乃至各部で計画的に道徳の授業の充実に努める。

※栄養職員・養護教諭はその限りではない。

②参観を積極的に行い、異学年・他学年の発達段階の違いや、校種間を超えて、互いの学ぶ機会とする。

③一人1研究授業実施の日時は、各部の校内研担当に報告する。各部の校内研担当は教務・管理職に連絡し、週行事計画や職員室の黒板に明記することによって、より多くの職員に参観してもらう。

(4) 指導主事招聘の校内研修においては、全体研修会を実施する。

※隔年で離島校訪問があり、主事招聘研究授業と兼ねる。

※離島校訪問時の代表授業は各部隔年で行うとする。(ただし職員数の変動により、柔軟に対応する)

	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)
離島校訪問 及び主事招聘	○ (中学部)		○ (小学部)
主事招聘のみ		○	

(5) 1年間の取り組みを「実践研究集録」としてまとめ、次年度以降の継続的な取り組みに繋げるようにする。

## V 研究内容

(1) 理論研究

①「学力向上推進・5カ年プラン・プロジェクトⅡ」についての共通理解

②道徳の授業における主体的・対話的で深い学びについての共通理解

③指導主事等による講話

(2) 学びの質を高める授業改善・学校改善への取り組み

(3) 各部の研究主任を中心とした各部会の充実

(4) 各部の課題や現状を踏まえた通年の取り組み

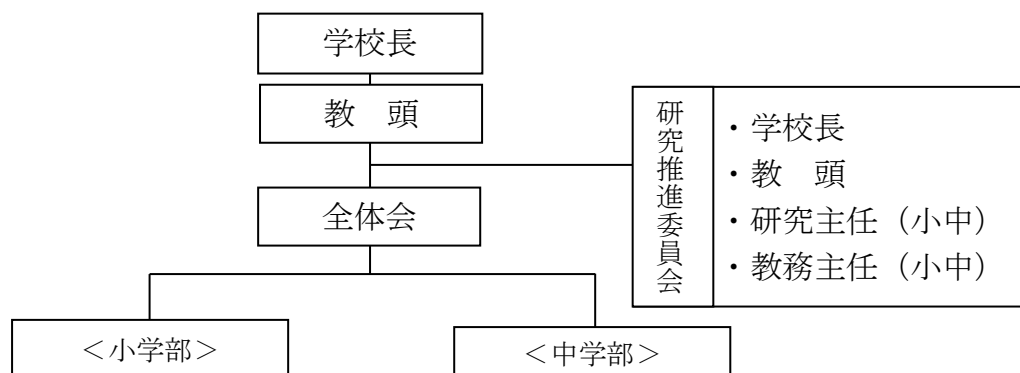
(5) 実践研究集録の作成・活用

## VI 研究計画

月 日	回	研修内容	持ち方
4	5	① 1, 研究主題等の確認 2, 学力向上推進プラン・プロジェクトⅡ等の施策の紹介 3, 一人一研の研究授業についての確認 4, 主事招聘研究授業者の決定…小中各1名(各部会で検討)	全体 (各部会)
	27	② 講師招聘理論研修会1(島内研修)※6校時欠	全体
5	16	③ 講師招聘理論研修会2(道徳の授業づくりについて)	全体
6	13	④ 主事招聘研究授業1	全体
7	20	⑤ 各部会での理論研修・中間報告 (道徳の授業の現状を情報共有及び今後の見通しについて)	各部会
	21	⑥ 講師招聘理論研修会3(性教育について)	全体
		⑦ 講師招聘理論研修会4	
26	南城市教職員研修会1	全体	
8	24	⑧ 講師招聘理論研修・指導案作成(道徳)	全体
		主事招聘研究授業2(09/12, 10/17, 11/14のどちらか)	全体
9	12	⑨	
10	17	⑩	
11月まで		一人1研究授業の実践および反省記録提出	
12	13	⑪ 研究集録における確認及びアンケートの実施 (アンケート内容:成果と課題について)	個人 各部会
1	17	⑫ 次年度校内研修計画の検討	全体
	28	南城市教職員研修会2	全体
2 3		次年度校内研修計画の検討【確認】(案)	全体
		研究集録原稿作成・収集	担当
		研究集録の印刷・製本・提出, 次年度に向けての準備	担当

(注) 日程や内容の変更, 臨時の校内研を設けることもあります。

## VII 推進組織及び役割・内容



## VIII 参考資料

(文部科学省より)

- 1, 学習指導要領（平成 29 年告示）解説 特別の教科 道徳編

(国立教育政策研究所より)

- 1, 学習評価の在り方ハンドブック 小・中学校編

URL:[https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/gakushuhyouka\\_R010613-01.pdf](https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/gakushuhyouka_R010613-01.pdf)

(沖縄県教育委員会より)

- 1, 義務教育課ポータルサイト

URL: [沖縄県教育庁義務教育課 \(google.com\)](http://www.okinawa-edu.jp/)

- 2, 令和 3 年度版 授業における基本事項

URL: [Microsoft PowerPoint - 04-2. 【新垣】 R 3 授業における基本事項 \(pref.okinawa.jp\)](https://www.pref.okinawa.jp/education/04-2-03/)

- 3, 令和 3 年度版 授業における基本事項 ふり返しシート

URL: [Microsoft PowerPoint - 04-2. 【新垣】 R 3 授業における基本事項 \(pref.okinawa.jp\)](https://www.pref.okinawa.jp/education/04-2-03/)

1



2



3

